

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	奥津川ラビンの里
(2) 指定管理者	所在地 津山市奥津川867番地 名称 ラビンの里管理組合 代表者 組合長 平山 幸隆
(3) 公の施設の所管部署	産業経済部 農村整備課
(4) 指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日
(5) 評価対象期間	平成28年4月1日～平成29年3月31日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	テントサイト 利用人数 530人 (前年度 589人) 宿泊施設 利用人数 210人 (前年度 189人) バーベキューガーデン 利用人数 1,638人 (前年度 1,939人)
(2) 事業の内容	ラビンの里の施設利用許可・運営・管理

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総 額	5,409千円 (前年度 5,430千円)
	利用料金収入	1,214千円
	指定管理料	4,125千円
	自主事業収入	70千円
	その他の収入	0千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総 額	5,405千円 (前年度 5,426千円)
	人件費	3,229千円
	光熱水費	694千円
	修繕・消耗品費等	579千円
	委託料	841千円
	その他	62千円

4 総合評価結果

(1) アンケート調査等の概要	○ 利用者にアンケート用紙を渡して、評価・感想などを記入してもらっている。
(2) 指定管理者の自己評価	○ テントサイトとバーベキューガーデンの利用者については前年度より減少しているが、宿泊施設の利用人数が伸びている。このため売上金額は減少しているものの、1件あたりの売上金額は増となっている。 ○ 施設利用については、毎年天候に左右されやすく、雨天の場合はキャンセルが多い。 ○ 施設ができてから約20年が経過しており施設の老朽化が目立ってきているが、計画的に修繕をおこなっている。 ○ 毎年イノシシ、シカ、サル対策に苦慮しているが、平成28年度は特にシカの被害が酷く、敷地内のシカの糞の片付けに苦労した。
(3) 市の評価	○ アンケート結果から、安全に水と触れあえる場所として来場者の満足度が高いことがうかがえる。特に管理人の対応が好評であり、来場者に対するホスピタリティーは評価できる。 ○ 施設の老朽化が進行するなか、工法等を工夫し経費を節減しながら修繕等にあたっている。 ○ 利用者数については天候による面もあるが、来場者数が減少傾向にあるため、アンケート結果等を検証のうえ、その内容を活かし、PRを積極的に行うなどして、リピーターだけでなく新規利用者を獲得するための方策を講じられたい。 ○ イノシシ、シカなどの対策については、これらの侵入を根本的に防ぐ方法を研究する必要がある。